

ひろしま 住まいのしおり

広島県木造住宅生産体制強化推進協議会

【構成団体】

社広島県建築士会,社広島県建築士事務所協会

(一社)広島県建築センター協会,広島県工務店協会

社広島県木材組合連合会,社広島県住宅地協会

(一社)日本住宅建設産業協会中国支部,社日本ツーバイフォー建築協会広島県支部

(一社)日本増改築産業協会 中国四国支部

株スガノ,株小野産業

【オブザーバー参加】

広島県土木局住宅課,広島県農林水産局林業課

社広島県建築士会 TEL:082-244-6830

※このしおりは、全国木造住宅生産体制推進協議会発行の「住宅省エネルギー技術・講習テキスト」から抜粋したものです。

ひろしま 住まいのしおり

～省エネ住宅の快適な住まい方～



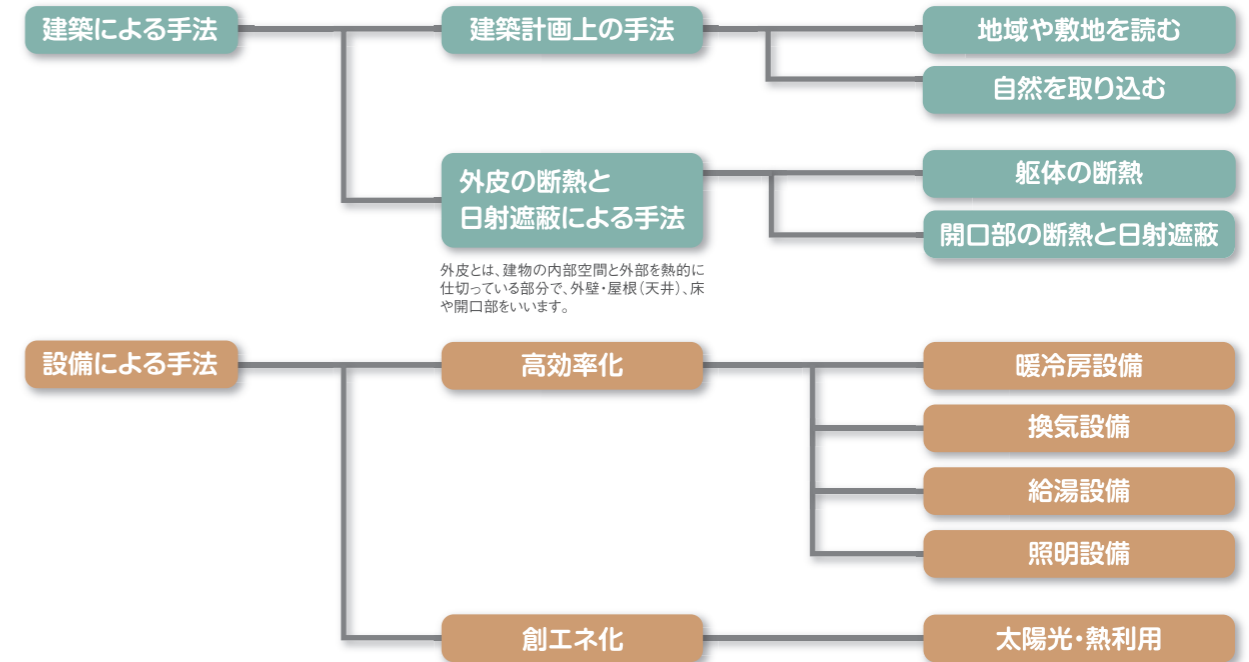
広島県木造住宅生産体制強化推進協議会



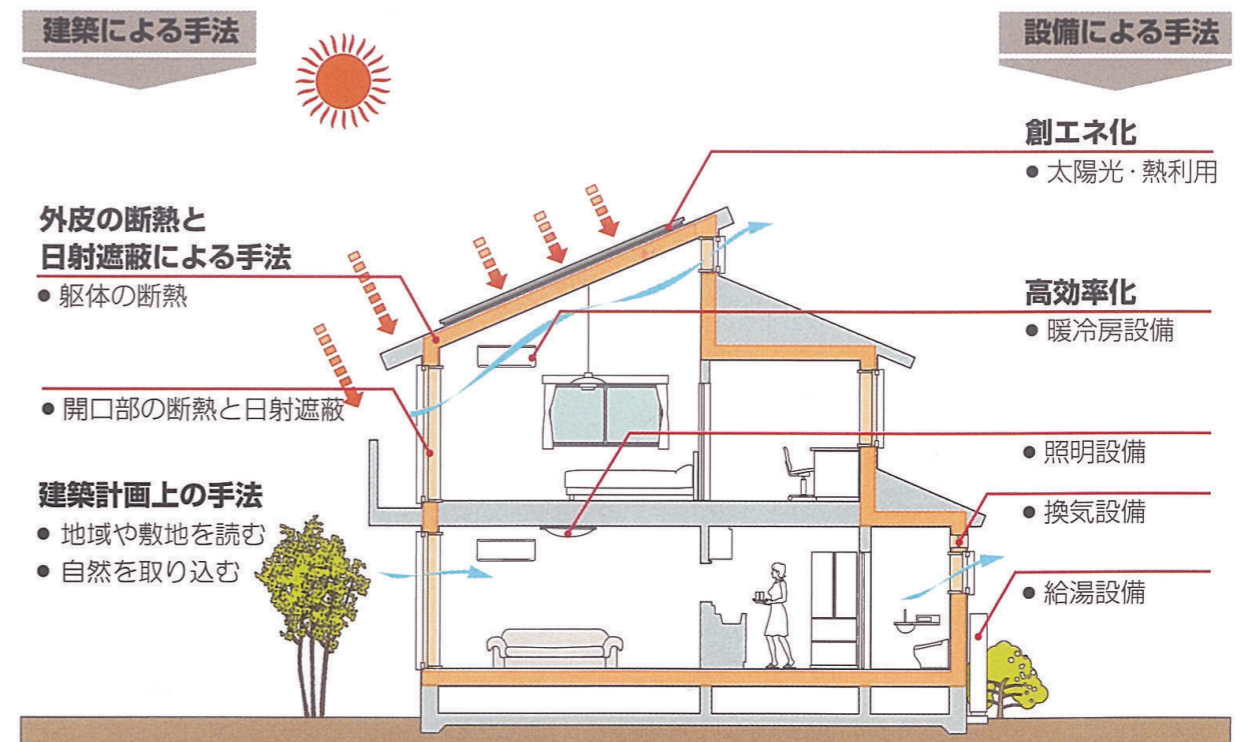
1. 住宅の省エネ化手法

省エネ化の手法

国土交通省では、『住生活に関する国民アンケート～未来の「住まい」を考える～』というアンケート調査を行いました。その中で理想の住まいを実現するために重要視するものとして、性能面では、「採光・通気性」、「省エネ性」、「耐震性」などを重要視しており、住宅において省エネ化が強く望まれていることがわかります。では、省エネルギーの住宅をつくるには、どんな方法があるのでしょうか。



外皮とは、建物の内部空間と外部を熱的に仕切っている部分で、外壁・屋根(天井)、床や開口部をいいます。



かしこい住まいの省エネ化とは……

さまざまな地球環境問題の中でも重大な問題のひとつである地球温暖化。

この地球温暖化にはCO²(二酸化炭素)が関与していると考えられています。

ところで、わが国の部門別CO₂排出量の割合を見ると、家庭部門が16%を占めています。

地球温暖化防止のためには、家庭におけるエネルギー消費を効率的にして、CO₂排出量をできるだけ少なくすることが必要といえます。



2. 省エネ住宅の住まい方



より快適で より健康で より地球にやさしい 暮らしのために……

省エネ住宅は、従来の住宅に比べ、極めて優れた性能を持っています。省エネ住宅は、その性能を活かし、正しく扱って頂ければ、より快適で、健康で、地球にやさしい暮らしを実現することができます。しかし、誤った住まい方をすると、危険な状況を引き起こす場合も考えられます。ぜひ、以下を参考にして、優れた性能を十分に活かした、快適な生活を実現させてください。

必ず守っていただきたい事項

① 開放型ストーブは使用しないようにしましょう!

省エネ住宅は壁などから逃げる熱を減らすとともに、換気による熱の逃げも減らした住宅です。燃焼ガスを室内に放散する開放型の石油ストーブやガスストーブ、ファンヒーター(石油、ガス)等は多くの換気を必要とするので、省エネ効果が低下します。

【使用を控える】

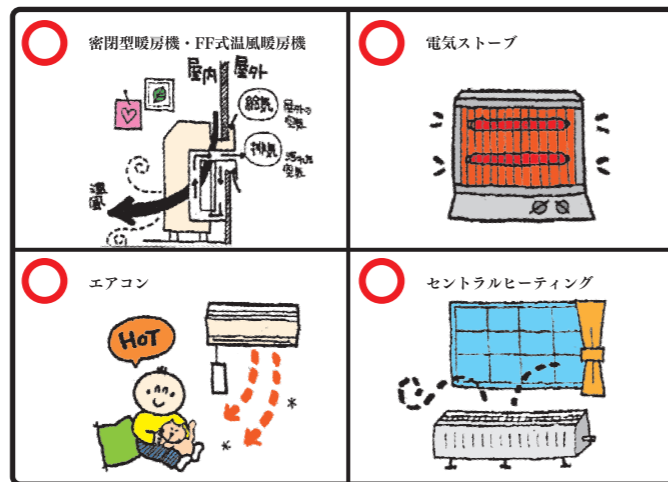
燃焼排ガスを室内に放出する暖房器具



暖房には、燃焼排ガスを屋外に出し、室内の空気を汚さない器具をお選びください。たとえば、次のような暖房器具をご使用ください。

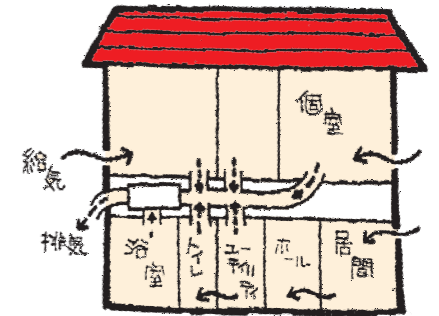
【推奨器具】

燃焼排ガスを屋外に排出する暖房器具や室内の空気を汚さない暖房器具



② 換気装置は止めないこと!

換気装置(計画換気システム)は、常時運転してください。空気質の悪化や結露による住宅の性能低下の原因になります。高気密構造の住宅は、常に屋外から新鮮な空気を一定量取り入れ、汚染空気を排出し、室内を快適な状態に保つための計画換気システムが取り入れられています。窓やドアを閉めた状態で換気装置を止めると屋外からの新鮮な空気の取り入れができなくなります。停電や故障で換気装置が作動しない場合は、窓を開けて自然換気を行ってください。

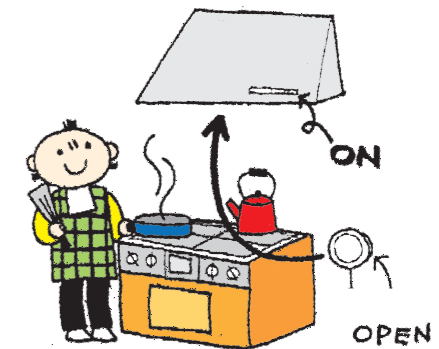


【計画換気システムとは?】

換気の経路を計画して、新鮮な空気の取り込みと汚染空気の排出を効率よく行う仕組みです。

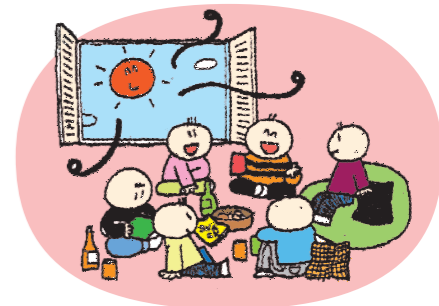
③ ガスレンジ使用時には強制換気をする事!

ガスレンジなどを使用する時は、必ず換気扇(レンジフード)を使って強制換気をしてください。酸欠や一酸化炭素中毒の恐れがあります。また、卓上コンロなどを使う場合も同様に強制換気を行うか、窓を開けるなどして換気を行ってください。強制換気を行う時は、必ず、ガスレンジやコンロの近くの給気口を開けてください。



④ 人が大勢集まった時には!

室内に、大勢の人が集まった時などは、換気量が不足しがちです。強制換気を行うか、窓を開け自然換気を行ってください。





⑤ 換気装置のこまめな掃除

換気システムの給気口と本体のフィルターは、定期的に掃除してください。必要な換気能力が発揮できなくなります。次のような点に注意してください。

- 給気口のフィルターにゴミやほこりがたまったら、掃除してください。特にほこりのつきやすい給気口は1か月に1度を目安に掃除してください。
- セントラル排気システムを使用している場合、換気装置本体のフィルターは1か月に1度は掃除してください。
- 詳細は、換気装置メーカー取扱説明書をご確認ください。



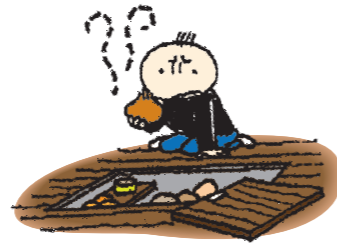
⑥ 外部に面した壁に穴をあける時や増改築のときには!

省エネ住宅の壁内部は、断熱性能と気密性能が発揮できるよう特別の施工配慮が施されています。エアコンの取付けなどの配管工事により壁に穴をあけてしまうと、防湿層や気密層を壊し、住宅性能を損なう場合があります。外部に面した壁に穴をあける時や増改築は必ず事前にご相談ください。



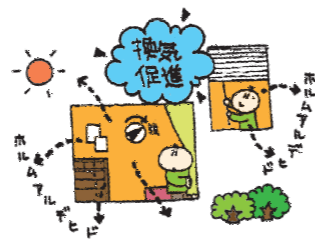
⑦ 生鮮食料品を保存するときには!

省エネ住宅は、冬場も家の中全体が暖かい住宅です。室内の床下収納などに生鮮食料品を置くと痛んだり腐りやすくなったりしますのでご注意ください。



⑧ 新築入居時には

新築して間もない時期は、建材やクロス、家具などに含まれているホルムアルデヒドなどの揮発性有機化合物の影響で、目や鼻の痛みや、頭痛などが生じることがあります。特に新築後3か月間は、計画換気だけでなく、台所、浴室などの強制換気を活用し、換気を促進させてください。



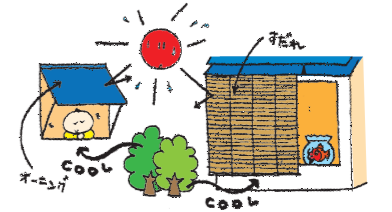
◆ より快適に暮らすために

● 夏涼しく暮らすための工夫

省エネ住宅は、高い断熱効果により、屋根や壁から熱が室内に入りにくく、屋外に逃げにくい性質を持っています。その性質をうまく活かせば、クーラー1台で全室冷房をしたり、クーラーに頼らなくても涼しい家を実現可能です。ただそのためには、暮らし方の工夫が必要となります。ここでは、夏涼しく暮らすためのポイントをお教えします。

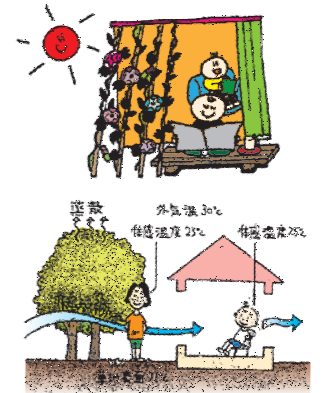
① 日射の遮蔽

省エネ住宅は、屋根や壁から外の熱が室内に入りにくい性質を持っていますが、窓から日射熱を入れてしまうと、熱が室内にこもってしまいます。夏涼しく暮らすためのポイントの一つは、日射の遮蔽です。日射を遮蔽する場合、窓の内側よりも外側で遮蔽した方が効果的です。最も簡単な工夫は、すだれやよしずなどを窓の外側に吊り下げたり、立てかけたりすることです。また、オーニングや外付けブラインドなどを活用して、日射をうまく遮蔽してください。



② 緑の活用

樹木は、光や熱をうまく調整してくれます。落葉樹は、夏は生い茂り日射を遮蔽し、冬は葉を落として日当たりを確保できるすぐれた機能を持っています。樹木の枝振りなどの特性を理解し、うまく活用してください。特に西日対策には、有効です。朝顔やヘチマなどのツル性の植物で、日陰をつくり、日射をさえぎる方法もあります。また、庭の芝生などは、地面からの照り返しによる熱の侵入を軽減してくれます。



③ 夜間の冷気の活用(通風換気)

地域によっては、日中の夏の気温が高くても、夜間の気温はかなり下がるところもあります。このような地域では、夜間の冷気を積極的に取り入れ、建物全体を冷やすことが重要です。夜間寝るとき、窓を開け、家全体を通風換気により冷やすように心掛けます。

